

社会教育委員会 令和8年度5月定例会 会議録

- 【事務局】 伊勢原市教育委員会教育部社会教育課
【開催日時】 令和8年5月22日（金） 午後3時～5時
【開催場所】 伊勢原市立中央公民館3階 会議室A
【出席者】 古里委員（議長）、石塚委員（副議長）、白鳥委員、岩崎委員、板倉委員、杉山委員、園山委員、久保菌委員、細谷委員、臼井委員、熊澤教育部長、梶歴史文化担当課長、秋山図書館・子ども科学館長、青木社会教育課長、田中社会教育係長、岩田主事
【欠席者】 鶴田委員、宮林委員
【公開の可否】 公開可
【傍聴者数】 0人

＜審議の経過＞

1 開会 社会教育課長

2 あいさつ

- (1) 古里議長あいさつ

3 報告事項

- (1) 伊勢原市教育委員会（社会教育関係組織）の概要について
(2) 地域学校協働活動推進事業の実施状況について
(3) 社会教育委員会専門部会の進捗状況について

4 協議事項

- (1) 伊勢原市文化財保存活用地域計画作成協議会委員の推薦について

5 その他

- (1) 「2026子ども読書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2026」の開催結果について
(2) 伊勢原市社会教育委員会提言書「育ちあえる地域コミュニティをどう作っていくか」提言に関する取組状況調査について

6 会議要旨

議長 それでは、報告事項（1）伊勢原市教育委員会（社会教育関係組織）の概要について、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、伊勢原市教育委員会（社会教育関係組織）の概要について説明。

○伊勢原市教育委員会（社会教育関係組織）の概要について【資料1】

議長 ただいま事務局から報告のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いします。

委員 毎年確認しておりますが、今年度の社会教育主事は何名いますか。

事務局 社会教育課にはいませんが、社会教育主事となり得る資格を有している者は、教育総務課に1名、経営企画課に1名います。

議長 よろしいでしょうか。それでは続きまして、報告事項（2）地域学校協働活動推進事業の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、地域学校協働活動推進事業の実施状況について説明。

○地域学校協働活動推進事業の実施状況について【資料2】

議長 ただいま事務局から説明のありました内容について、御質問や御意見等ございましたら御発言をお願いします。

委員 主な活動事例のなかに、あまり中学校の事例が出てきませんでした。中学校は事業実施がなかなか難しい状況なののでしょうか。

事務局 事業を協力してやっていこうという話がまだあまり出てきていないのかもしれないし、事例として紹介されるほど大きなものがないだけなのかもしれません。地域学校協働活動推進事業自体がまだあまり周知されていないことも原因だと思います。今後自治会等に向けた周知活動をしていきますので、活動は今後もっとレベルアップしていくと思われます。

委員 中学校でも、地域学校協働活動推進員が関わっているイベントはあまり事例として出ていなくても、地域のイベントに学校が関わっている事例は色々あります。地域から声をかけると、学校は応えてくれて、ボランティア精神で参加してくれることもあります。こうした地域と学校が連携した事業自体は以前からあって、地域学校協働活動推進事業の仕組みは近年導入されたものになるので、こういった仕組みがあると周知していくのが良いと思います。従来からあった活動を今後地域学校協働活動推進員が繋いでいくかたちになっていくと思います。

議長 委嘱状況を見ると、委嘱時期が早い学校は活動事例が上がってきているようです。ある程度時間をかけながら学校と地域学校協働活動推進員との間で関係を作っていくって、その結果が活動事例として出てきているのかと思います。中学校に関しては、昨年度から委嘱が始まった学校も多いので、今は関係づくりをしている状況なのかなと思います。

それでは続きまして、報告事項（3）社会教育委員会議専門部会の進捗状況について、各部会代表者から説明をお願いします。

昨年度3月の定例会以降、A、B二つのグループに分かれて検討を進めてきていますので、それぞれのグループでのこれまでの検討状況等について説明をお願いします。

委員 Aグループでは、前回の定例会からテーマを変更し、「育ちあえるコミュニティづくり」に「顔が見える」という視点を追加して検討していくことにしました。顔が見えるの方がより進化した状況であると考えています。

5月16日に愛甲石田で開催されたロータリーまつりに参加し、学校の先生や地域の高齢者の方がステージに立ったり、地域の小さな子どもや保護者がイベントを楽しんだりしているのを見て、「顔が見えるコミュニティ」が形成されているように感じました。

まつりのなかで、地域学校協働活動推進事業についてのアンケートを実施したのですが、地域学校協働活動推進事業の認知度は40%とのことでした。

委員 学校としては働き方改革の観点もあり、土日に教職員が地域に出ていくのは難しい話になっています。ただ、その中でも、学校の方で地域に出前授業やボランティアをお願いしており、お世話になっている事例があります。学校側も地域にもっと出ていくことで、お互い顔が見えるようになって、地域の中で子どもが育まれていくようになると思います。特に若い教職員に多いのですが、自分達の趣味等を活かしながらや、自分の子どもを参加させながら、地域の行事やまつりに参加することが、ここ何年かで広がっているように感じます。

- 委員 自分も以前地域の行事に参加して、その後小学校に行ったら、こどもが自分の顔を覚えてくれていて、声をかけてくれたことがありました。
- 委員 今後は、市内の小中学校を対象に、地域と学校に関するヒアリング調査をしていく予定です。
- 委員 Bグループでは、顔が見える地域コミュニティをどう作っていくかということで、「社会教育施設から見た顔が見える地域コミュニティづくり」として、現状と課題を明らかにし、社会教育から可能なアプローチを考えるというテーマで検討を進めています。
- 公民館を社会教育施設の中心としてとらえ、第1回のグループ打ち合わせでは、公民館がどんな事業を実施しているのか調査をしようということで協議しました。それぞれの委員で担当を決め、市内7公民館にどんな事業を行っているのか調査を行いました。
- その結果を打ち合わせたなかでいろいろ課題点等も出てきて、ちょうど公民館まつりが終わった直後でもあったので、その次に今度は公民館まつりについてをテーマに、各公民館へ調査に行きました。
- どこの公民館も、参加者は高齢者が中心であること、公民館まつりが公民館にとっても一大イベントであり、一年間の行事のなかで一番参加者が多いこと、小中学生の参加が少なく、小中学生の参加に向けていかに取り組んでいくのが課題であることがわかりました。
- 公民館まつりは、たくさんの住民が出合い、知り合う場ではありましたが、それが顔が見える関係かということ、そうではないというように思います。
- 公民館まつりで知り合った人々が、どうしたらもっと顔の見える関係に深めていけるかが課題だということになりました。
- 次のグループ打ち合わせにて、どうしたらもっと関係を深めていけるのかということで協議を行い、公民館を拠点とした人集めの企画が必要ではないかという意見が出ました。
- 現在、市内地区公民館には館長と公民館主事の2人がいて、2人という少ない人数で事業を実施していると聞いています。私達社会教育委員は、公民館運営審議会委員でもありますので、今後は公民館運営審議会としての役割も考えていく必要があるのではないかという意見が出ました。
- 公民館においては、館長会議、主事会議という市内の公民館長や公民館主事が集まる会議があると聞いています。その会議に参加させていただいて、公民館の目標と私達社会教育委員の、顔が見えるコミュニティづくりという目的のすり合わせをしていって、公民館の事業を応援していきたいということになりました。
- 議長 自分もBグループのグループ打ち合わせに参加したのですが、我々社会教育委員と公民館の館長や主事とが顔の見える関係づくりができていないと、実際に公民館で活動を作っている方々を応援する研究ができないのでは、という話が出ました。
- 今度は館長会議や主事会議に参加し、どんな話し合いをしているのか等をお聞きし、実際に公民館で働いている方から学び、調査を一步進めるという流れになっています。
- それでは、各グループの発表内容について、質問や意見等ありますか。
- 委員 館長会議が毎月1回開催されているということは私も今回初めて聞きましたが、大変素晴らしいことだと思います。
- 先ほど社会教育主事の話が出ましたが、館長会議に社会教育主事が出席された方が良いのではないかと思います。私達からすると、社会教育主事の顔と活動が見えないので、社会教育主事がどんな活動をしているのかを含めて、公民館長や公民館主事に社会教育主事が助言や指導をするような形で進めていけた

ら良いと思います。

先ほど、教育委員会の組織についての話のなかで社会教育主事の話がありましたが、教育委員会の所属ではないと発令がされないので、現在、伊勢原市で社会教育主事の発令がされているのは1名ということになります。

事務局 社会教育主事に館長会議に出ていただいたらどうかという話が出ましたが、実際は、現在の所属部署での業務が忙しくて参加は難しいかもしれません。

議 長 社会教育法において、社会教育主事は教育委員会事務局に置く、という決まりにはなっていますが、そのなかでどの課に置くのかというところまでは定まっていません。しかし、一つ課題になるのは、教育委員会に社会教育主事がいながらも、社会教育主事としての業務を行えていないということは、今後社会教育主事を置くのが社会教育課以外でも問題ないかどうかについて、議論する必要が出てくると思います。

現在、教育委員会に在籍する社会教育主事の方も、教育委員会への異動時には社会教育主事の資格は持っておらず、異動してきてから社会教育主事講習を受講して社会教育主事資格を取得し、その後、発令されていたと思います。現在社会教育主事資格を持っていない職員が、社会教育主事講習を受講する計画があるのか確認したいと思います。

ただ、社会教育主事講習を受講して社会教育主事資格を取得できたとしても、今後人事異動で別の部署に移る可能性があることを考えると、社会教育主事資格の有資格者を採用して、ずっと社会教育担当部署に在席してもらうという考え方もあると思います。

事務局 社会教育主事の有資格者をどう配置するのかということについては、教育委員会には職員の人事権はないので、市長部局に対して、社会教育主事の有資格者の配置に配慮するように依頼していくことになります。人事当局に対して働きかけをしていく必要があるということを課題として挙げているところ です。

委 員 私達は社会教育全体に対して、市民目線で意見を言う立場だと思います。例えば、先日社会教育課で開催された人権セミナーに参加したのですが、参加しているのは社会教育委員等の関係者が多いように見えました。

セミナーの実施について、チラシで周知がありましたが、これまで人権セミナーに参加したことがないような、公民館にあまり来たことがないような人をどうやって取り入れるかという視点での工夫が必要だと思いました。

セミナーに参加してほしい人の目にとまるようなキャッチフレーズを入れる等が考えられると思います。

現在のかたちだと、参加者がいつも参加している人に固定されてしまうので、これまで参加したことがない人の目にもとまるキャッチフレーズを考える等の会議の場があると良いと思います。そういった意見を言うことが、私達社会教育委員の仕事であると思うし、もっと一般の方の意見を吸い上げるようにしていくことが大事なのではないかと思いました。

議 長 今回の社会教育委員会議では、顔の見える地域コミュニティをどう作っていくかということと言うと、今の意見のように、市民の目線や意見を講座や広報に反映させる仕組みを考えていかなければならないのではないかと思います。

こうしてAグループ、Bグループでそれぞれ調査をしていくなかで、全体で意見交換をしていく場も必要になってくると思います。

前回の定例会でも全体での意見交換の必要性についても言及されたところだったので、こちらについてはまた別途検討したいと思います。

よろしいでしょうか。それでは続きまして、協議事項（1）伊勢原市文化

財保存活用地域計画作成協議会委員の推薦について、事務局から説明をお願いします。

事務局

配付資料に基づき、伊勢原市文化財保存活用地域計画作成協議会委員の推薦について説明。

○伊勢原市文化財保存活用地域計画作成協議会委員の推薦について【資料3】

議長

ただいま事務局から報告のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いします。

委員

文化財保存活用地域計画作成協議会の委員について、他にも文化財の保護について専門的な方がいらっしゃるなかで、社会教育委員から推薦する根拠をお聞きしたいと思います。

事務局

社会教育委員会議は文化財に特化した委員会ではないということについては承知しています。

文化財の保存・活用については、地域の力や教育のなかでどのように活用していくのかという視点も大きいと考えています。

単に文化財に日頃から関わっている方だけでなく、どういう形にして地域の方々に文化財の良さを知っていただき、保存に協力いただき、子ども達に知ってもらうことが、未来の世界に文化財を残していくために必要だと考えています。

計画の策定に向けた委員になりますので、そういった観点からも意見をいただきながら、多面的な目線から意見をいただきたいという考えでの、社会教育委員会への推薦依頼となります。

議長

保存と活用という観点に加え、文化財継承の担い手を確保するということが計画の趣旨にあることから、社会教育の分野とは強く結びついてるのではないかと個人的には思います。

委員

一期目に参加させていただいたのですが、何でも意見を言って良いと言っていたので、大変勉強になりました。学校での活動をしているなかでも、委員に参加して得た知識を児童に説明できることもあるので、社会教育の活動にも役に立つ経験ができると思います。

議長

今回の委員選出に向けた協議をしているなかで思ったのですが、これまで社会教育委員会議のなかで、それぞれの方が参加されている委員の活動報告をする時間を取っていなかったと思いました。今後の会議のなかでは、議題のなかで参考として話してもらうと良いと思いました。

委員の選考について、事務局から補足等がありますか。

事務局

今回の計画は第二期のものになるため、第一期の計画内容について精査することがありますので、できれば第一期の委員をされた方に続けてご参加いただき、意見をいただきたいと思います。

議長

第一期の委員をしていただきました石塚委員に第二期もお願いしたいと思いますですが、いかがですか。

委員

第一期の時、難しい言葉が出てきて調べる等してとても勉強になったので、また思い出しながら勉強させていただきたいと思います。

この場でできるだけ共有して、皆さんの意見も伺っていききたいと思います。

議長

よろしいでしょうか。それでは続きまして、その他（１）「２０２６子ども読

書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2026」の開催結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、「2026子ども読書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2026」開催結果について説明。
○「2026子ども読書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2026について【資料4】

議長 ただいま事務局から報告のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いします。

委員 今回の事業と直接関係はないかもしれませんが、現在こどもの読書離れが進んでいると話題になっています。年間の図書館利用人数と、読書手帳の活用状況と、新生児に本を贈るような事業を伊勢原市では実施しているのかどうかについてお聞きしたいと思います。

事務局 図書館の利用実績について、令和6年度は年間で28万2,928人の入館があり、12万263人の方に貸し出しを行い、貸し出し冊数は48万1,153冊の実績となっています。
読書手帳については、どれだけ本を読んだかを記録してもらう手帳となっており、1,803冊配付しています。
最後に、こどもに本に触れてもらう機会を作るためのブックスタートのような事業について、図書館ではおはなし会の日程等を周知して、図書館に来ていただく工夫をしています。

事務局 ブックスタートの取組については、こどもみらい部の方で本を贈っていると聞いています。それに合わせて図書館の利用についての案内もしていると聞いています。

委員 ゴールデンウィークの連休中の図書館・科学館事業についてはどのような視点で決まっているのでしょうか。

事務局 普段の事業は主に職員が行っていますが、ゴールデンウィークの期間は様々な団体にご協力いただいて事業を実施しています。
これまでの事業開催団体に事業が実施できないかを打診し、実施事業を決めています。
これまでの開催団体に事業の対象学年等をお伝えし、事業を実施してもらうようお願いすることもありますし、新しく展示等をしてくださる団体等があれば、そこをお願いすることもあります。

委員 先ほど話に出ましたブックスタートについて、以前、ベトナムルーツのお子さんの7か月児健康相談に同行した時、こどもみらい部の方が、絵本の読み聞かせをした後に、好きな絵本をプレゼントしてくださる様子を見ました。

議長 よろしいでしょうか。それでは続きまして、その他（2）伊勢原市社会教育委員会議提言書「育ちあえる地域コミュニティをどう作っていくか」提言に関する取組状況調査について、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、伊勢原市社会教育委員会議提言書「育ちあえる地域コミュニティをどう作っていくか」提言に関する取組状況調査について説明。
○伊勢原市社会教育委員会議提言書「育ちあえる地域コミュニティをどう作っていくか」提言に関する取組状況調査について【資料5】

- 議長 ただいま事務局から報告のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いします。
- 昨年４月に提出した提言書について、市での取組状況の調査を行うということで、調査票の精査、調査の実施は今後とのことですが、御質問等ございましたらお願いします。
- 委員 地域学校協働活動推進事業の実施状況についてでも中学校での取組についてのお話が出ましたが、中学校の場合、地域に期待することというのはやはり部活動の話だと思います。はっきり言って難しい部分もあるとは思いますが、いかに地域の方と協力して部活動が学校だけの負担にならずに、実施できるかという話になってくると思います。
- 以前、県のスポーツボランティアという人材バンクについての話を聞いたことがあるのですが、そういったネットワークというか組織づくりのようなものが作ることができたら良いのかと思います。
- 部活動の地域移行については、５０年前から言われているような問題ですが、あまり進んでいるようには思えないので、そういったネットワークづくりができると良いのかと思います。
- 委員 部活動の地域移行については、教育指導課だけの話ではなくなっていると思います。
- 事務局 部活動の地域移行の関係の提言対応については、自分の所管ではないのですが、承知している範囲内では、協議会的な枠組みを今後作っていくというような話は聞いています。
- 教育指導課が担当となるころは多いと思いますが、今後地域の方にもお話をお伺いし、これからの中学校の部活動をどういう体制で進めていくのか、ということ議論していきたいというように聞いています。
- 今回の調査では担当課を教育指導課とさせていただく予定ですが、今後は色々な方に関わっていただきながら、この取組を進めていくことになると思います。
- 委員 教育委員会の組織の話にも関係するかもしれませんが、例えば公民館まつりは社会教育課、サポセンフェスタは市民協働課が所管になるように、現行の運営を横から見直すというきっかけにもなると思います。
- 地域に上手くとけこんでいくには、公民館の運営や自治会を担当する市民協働課等との接点や連携等についても、この調査に回答する際に改めて検討できたら良いと思います。
- 事務局 今回の調査票はまだ未定稿のものですが、最初は社会教育委員から提言をいただいた内容であっても、想定される所管課、教育部門から広がりを見せていて、まさに社会教育というのは随分広い分野で対応していく必要があるのだと感じたところです。
- こういった状況も踏まえて、今年度社会教育係の執務室を中央公民館から本庁舎へと移らせていただいたところです。社会教育係が一つの柱になって、庁内の連携や対応を進めていきたいという思いであります。
- 結果的にちょっと市民からの接点が遠くなってしまったという意見もあるところですが、今後はこれまで以上に様々な課題に対応していきたいというところです。
- 委員 昨年行った提言が、単なる提言で終わらずに、行政の取組状況として見せていただけるのはとても良いことだと思います。
- 委員 外国にルーツのある人々に関する施策については、市民協働課で実施してい

るところが多いのですが、伊勢原市でも学校に国際教室ができつつあると聞いています。できれば学校の国際教育の担当者と、外国にルーツのあるこども達を支援する団体とお話ができる機会等があればいいと思います。

委 員 外国にルーツのあるこども達について、現在、プレスクールがなく、日本語がわからなくても、いきなり日本の小中学校生活が始まるので、こども達と先生方、それぞれ大変な思いをされているように感じます。

委 員 国際教室について、外国にルーツのあるこどもが一定数以上いると国際教室を開設するというかたちになるのですが、基本的には20人までは一人の先生が担当することになっています。

クラスの中から外国にルーツのあるこどもが週に2回ほど国際教室に出席する形になっており、本来だったらもう少し長い時間を国際教室で過ごせたら良いのですが、普段のクラスでの学習を考えるとそれも難しいので、悩ましいところ です。

同じ外国にルーツのあるこどもと言っても、断食や礼拝の習慣等、出身国によってかなり生活状況が異なります。

そのため、国際教室の運営にあたっては、クラス担任と国際教室担当の教職員が苦勞しながら勉強して、手探りで進めているところになるので、今お話があったように、支援団体と連携していくというのはとても大事だと思います。

委 員 国際教室の実施について思ったのですが、外国にルーツのあるこどもを支援する団体と、学校の担当者間で意見交換ができる活動協議会のようなものを立ち上げてみてはいかがでしょうか。

委 員 今回作成した取組状況調査票について、事業担当課が記載してありますが、相手方もすでに承知しているものなののでしょうか。

事務局 担当課として記載してあるのは、あくまで現時点での想定であり、相手方への打診はまだ実施していません。

議 長 提言内容から社会教育課の方で担当課をイメージして記載したということになるのでしょうか。

事務局 社会教育課で提言内容から担当課を想定して記載したものになります。

議 長 よろしいのでしょうか。それでは続きまして、その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局 お手元に「第31回いせはら市展表彰式の御案内」をお配りしています。こちらについてご出席いただければ幸いです。

また、今年度も「大山こまフェスティバル」について説明させていただきます。

こちらについて、7月4日（土）に開催させていただきます。参考に大山こまのパンフレットをお配りしておりますのでご確認ください。

議 長 ただいま事務局から報告のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いします。

委 員 <質疑なし>

議 長 他にはよろしいのでしょうか。これをもちまして本日の議事は終了いたします。これからの進行は事務局にお願いいたします。

事務局 これで本日の日程はすべて終了いたしました。閉会にあたりまして副議長から御挨拶をお願いいたします。

副議長 閉会の辞

以上